

JAPAN GOLF ASSOCIATION

# JGAGolf Journal

日本のゴルフが、日本のチカラに。  
Green Tee Charity



JAPAN GOLF ASSOCIATION

∴特集1∴

**日本ゴルフ界の振興のために**

～公益財団法人としてのJGAの役割～

∴特集2∴

**日本アマチュアゴルフランキングの創設**

# 日本ゴルフ界の振興のために

## ～公益財団法人としてのJGAの役割～

JGAは4月1日に公益財団法人の認可を受けた。それにより、JGAはこれまで以上に、すべてのゴルファーのために日本のゴルフ界を活性化するための施策に取り組むこととなった。2009年に掲げた中期ビジョンの取組み状況とともに、公益財団法人としての今後の展開について、永田専務理事が語る。



公益財団法人日本ゴルフ協会  
専務理事 永田 圭司

### JGAはゴルフ界の総合コーディネーターの役割を期待されている

—公益財団法人となったことで、JGAの立場、活動はどのようなのでしょうか。

永田 すべてのことを一般ゴルファーからの目線に立って考えるということが基本です。これまでは組織の歴史上、アマチュア競技団体という方向性がなんとなく残っている部分は否めないのですが、公益法人とは何か、ということを考え、それを組織の共通認識とすれば、すべてのことに答えは出るはずなのです。その上に立って、加盟倶楽部の皆様や地区ゴルフ連盟、都道府県ゴルフ競技団体、他団体との関係をいかに作り上げていくか、ということが大切です。JGAが期待されていることは、ゴルフ界全体の総合コーディネーターとしての役割を担って欲しいということではないでしょうか。

—つまり、トッププロから、ゴルフを始める人々まで、すべてのゴルファーの立場に立ち、その活性化に務める、ということですね。

永田 そうです。1つ1つのプロジェクトは、2009年に掲げた中期ビジョンに沿って進んでいます。あの時点から、公益財団法人化を視野に入れて活動しているので、今後の活動方針も中期ビジョンを軸にしてまとめていきます。

—中期ビジョンを掲げてからすでに3年経ちましたが、現状をまず教えてください。

永田 ハンディキャップシステムは、計画通り2011年に『USGAコースレーティングシステム』のライセンス契約を正式に締結し、同年末から説明会を行っています。2012年度からは、このシステム導入を段階的に開始し、2014年度からハンディキャップインデックス計算方法も、従来のJGA方式からUSGA方式に移行することが決定しています。

—簡単に言うと、新しいシステムでハンディキャップインデックスを取得すれば、同じシステムを使用している国なら世界中、どこに行ってもそれを使ってプレーできるという理解でいいのでしょうか。

永田 そういうことです。このシステムが今までより優れていることは明らかなので、システム変更を機に、より多くのゴルファーにハンディキャップインデックスを取って欲しいと思っています。

—それ取得することで、ゴルファーにはどんなメリットがありますか？

永田 前述のように、日本国内や世界中の大部分のコースで公平なハンディキャップでプレーできるということが一番大きいのですが、今後の普及への課題はもっともっとそのメリットを増やすことです。



JGA/USGAコースレーティング査定方法について、USGA担当者によるセミナーも開催。

—どんなメリットを？

永田 JGAでもアンダーハンディキャップ競技の開催を始めましたが、こういった試合をもっと奨励し、すべてのゴルファーがもっとハンディキャップを使ってゴルフを楽しめるようにすることですね。そうすることで、競技ゴルフの楽しさを身をもって知ってもらえると思います。

### オリンピックに向けてプロ、アマの垣根を越えて協力する

—競技者育成についてはどうですか。

永田 2016年オリンピックが近づいているので、オリンピックでメダルが獲得できる計画を進めることは急務です。枠組みはすでにできています。そのためには、プロだ、アマチュアだという垣根を早急に取り払う必要があるでしょう。

—プロゴルファーの協力も仰いでいくということですね。

永田 はい。競技者育成の部分に限ったことではないのですが、JGA競技のすべての段階で優勝を経験している中嶋常幸プロに、JGAオフィシャル・スポークスマンをお願いすることが決まりました。オリンピックに向けて、またハンディキャップシステムへの理解を求めることなど、すべてのゴルファーに知っていただくべきことはたくさんある。トッププロであり、経験豊富な中嶋プロに前面に出ただけ、機会あるごとにそれをアピールしてもらおうつもりです。

—中嶋プロが「広告塔」なら、露出も増えるのでは？

永田 もちろん、それも考えに入っています。オリンピックプロジェクトでは樋口久子さんにもアドバイザーをお願いしましたし、本当にプロ、アマの垣根をなくしていきたい。もう少ししたら、女子からもスポークスマンをお願いしようかと思っています。

### ゴルフ界活性化のために財政基盤の確立を

—3オープン事業についてはどうでしょう。

永田 日本オープン、やがては全英オープン、全米オープンに次ぐイベントに育てるべく、計画は進行中です。3オープン事業に限ったことではないのですが、活発に活動するにはやはり資金は必要です。その部分も順調に進んでいます。

—公益財団法人となったわけですが、資金獲得の必要はあるのですか？

永田 はい。この部分をよく誤解されるのですが、JGAは営利団体ではなく、公益財団です。しかし、何を行うにしても財政はしっかりしていないといけません。何も儲けようというわけではありません。日本ゴルフ界の活性化とレベルアップを目的にして、そのために必要な資金を獲得し、有効に使うということなのです。これまでJGAは、加盟倶楽部の皆様からの会費と、スポンサーに頼って来ました。けれども、それではどうしても限度があります。従って、個人会員や一般のゴルフファンという1000万ゴルファーから協力いただける仕組みも作らなくてはいけないのです。加盟倶楽部の皆様の負担を増やすことなく、日本ゴルフ界の振興に取り組める基盤をしっかりとしたものにするのが理想です。

—その資金調達という意味でも3オープンが順調である、と？

永田 はい。競技としてのレベルを上げる努力は、当然、行っています。それを大前提にした上で、ですが。

—これまで日本のゴルフトーナメントがうまくないで来たなかった興行としての成功を目指す、と考えていいのですか？

永田 その通りです。すでに、マーチャダイジングなどを含めて、3オープン事業は無理のない形で黒字方向になっています。これまでの日本のゴルフトーナメントは、代理店が入って、テレビ放映とのパッケージで何とかやってきたというのが現状です。しかし、3オープンがトーナメントのサンプルになりかかっているのです。ギャラリ収入と放映権料を併せて黒字になるのが見えてきているのです。

—やはり、2009年におっしゃっていたように、3オープンの充実とマーチャダイジングは表裏一体なのですね。具体的な数字をお聞きしたいのですが。

永田 2011年は約6000万円の売り上げがありました。2012年はこれを1億円に増やすことを目標にしています。

—現状では3オープンのプロモーションマークでの物品販売が目立っているようですね。

永田 それも、今までは大会直前に販売するといった具合だったのですが、もっと早い時期にプロモーションマークをつくり、販売を開始する形を取りました。これで、売り上げが大きく違います。また、今後、チームジャパンブランドというものも考えています。

—サッカーの日本代表をイメージすればいいのでしょうか？

永田 そうです。ナショナルチームが世界アマなどで着用するのはもちろん、2016年オリンピックの日本代表ユニフォームにもなりますから。

—サッカーのサポーターがユニフォームのレプリカを着て応援するように？

永田 そうです。ですから、レプリカ版でも高品質の物品をつくってブランド力を高め、2億円ベースになればいいと思っています。



JGAオフィシャルスポークスマンに決定した中嶋常幸プロ。



2年連続でマスターズに出場した松山英樹選手。

—なるほど。では、育成、強化についてはいかがでしょう？

永田 底辺拡大とレベルアップを平行して行わなくてはなりません。これについても、絶対に資金は必要です。例えば、現在世界で強豪といわれる韓国のナショナルチーム強化のための予算は年間5億円ほどあるといわれています。これに比べて日本は恥ずかしくていえないほどしかないのが現状です。つまりジュニアゴルファーの育成は、個人や民間に頼っている部分が多いのです。組織立ててこれをするには、どうしても資金が必要なのです。

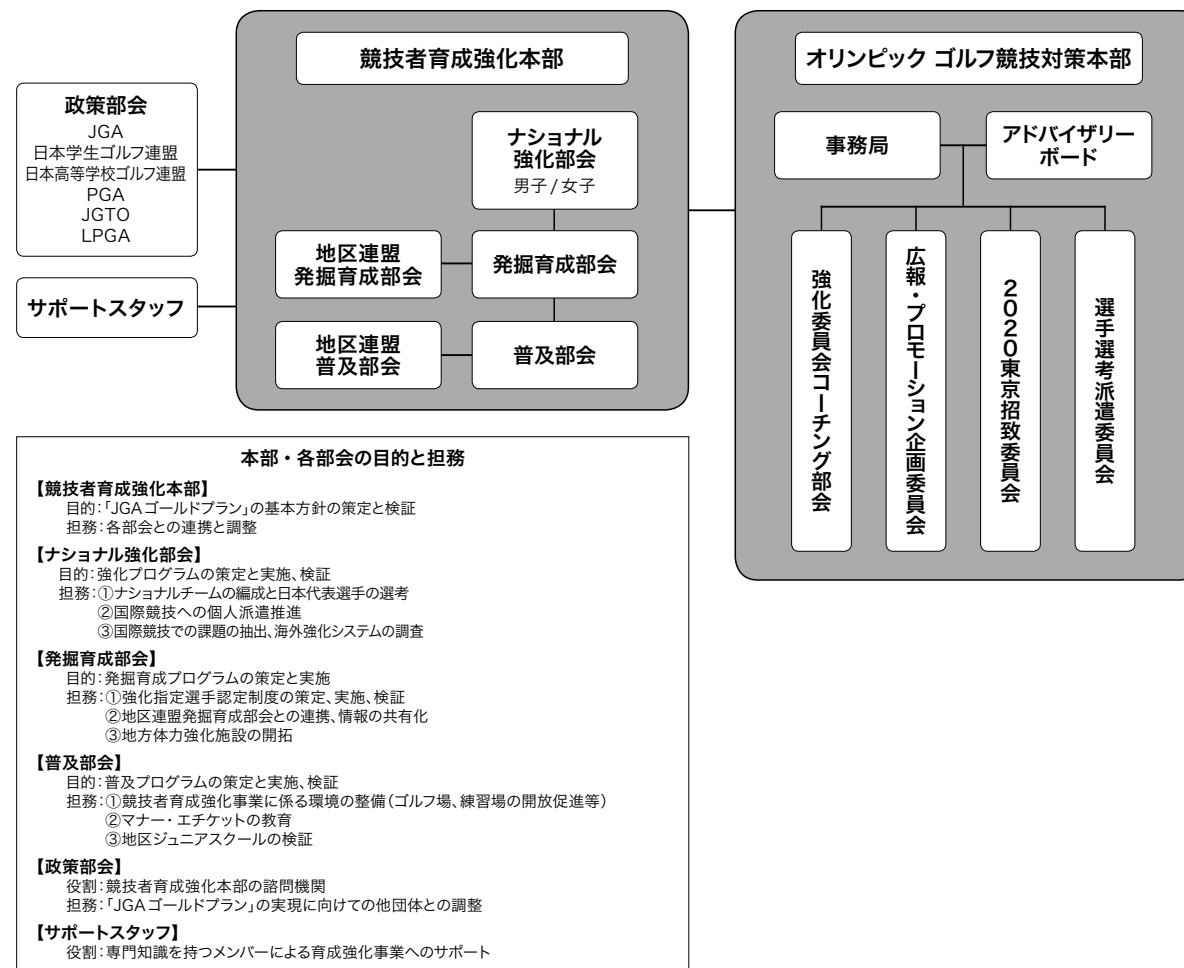
—確かに、アマチュアとしてプレーを続けていくのは金銭的に苦しいから、早い時期にプロに転向するという傾向があるのは否めませんね。

永田 そうなんです。けれども、例えば優れた育成機関に、JGAが金銭的なバックアップをしてトップアマチュアを送り込むことができれば、そこでプロへの転向時期をもう一度考えてみるという選択肢も提案できる。今はまだ夢物語かもしれませんが、2014年以降は、具体的な目標としてこのあたりも掲げたいと思っています。

—個人会員については？

永田 JGA活動のサポーターとして1000万人といわれる日本のゴルファーすべてをターゲットにして、広げたいと思っています。もちろん、そのためにはメリットがなければいけません。個人会員になると出場できる試合が数多くあり、オープンのチケットが安くなったり、グッズ購入がお得になるなど、方法は色々あるでしょう。こうしてインフラをしっかりと整えて、個人会員＝サポーターを増やしたいですね。

競技者育成強化 組織図



※「JGAゴールドプラン」…世界で活躍できる競技者を輩出していくために、ジュニアへのゴルフの普及、競技者の発掘・育成・強化を一貫して行うプログラム。

ゴルフ界のために良いサイクルを作らなければならない

—最後に今後の展開をまとめていただけますか？

永田 財源の話がかなり出てきたので誤解の無いようにもう一度説明すると、JGAはすべてのゴルファーに対するサービス機関にならなくてはいけないと思っています。サービスを行うにはお金がかかる。つまりマーケティングのできる組織にならないといけないのです。マーケティングというのは、僕の考えでは、循環なんです。いかにいいサイクルを作るか、JGAはそのためにコーディネーターとして活動するんです。負のスパイラルに陥ると苦しくなるばかりですからね。実は公益財団法人の認可を受けるのは簡単なことではなかったのです。公益事業つまり特定の人達のためでなく広く全ゴルファーのための事業がしっかり出来るか将来も含めて審査を受けました。これを胆に命じて新JGAを創っていかなければならないのです。

—文化継承という部分は？

永田 2001年のゴルフ日本100年祭を記念してJGA顕彰を発表しましたが、あれから10年が経過したので、今年中に顕彰者の追加をする予定です。

—昨年、日本プロゴルフ殿堂も発足しました。そことの兼ね合いは？

永田 一般ゴルファーの目線だと一本化するのが筋でしょう。ですが、様々な事情があって、すぐにそうできないのが現状です。将来の一本化も視野に入れつつ、それまではJGAが顕彰もしっかりと行っていくことになります。ゴルファーの名誉という部分をしっかりと確立し、故人だけでなく、ご存命のゴルファーにとっての最後の目標になるようなものを作り上げられればいいと思っています。それがみんなの共通認識になればいい。

# 「オリンピック ゴルフ競技対策本部」の設立

～ 2020オリンピック東京開催を成功させましょう～

ゴルフ競技が2016年リオデジャネイロ大会そして2020年の大会で実施競技に採用されました。本年5月23日のIOC理事会にて東京都は「2020オリンピックの第1次立候補都市」のひとつとして選考され、開催都市の決定は2013年9月7日IOC総会で決議されます。

日本のゴルフ界全体とし、2大会を通してゴルフ大国日本を世界にアピールする絶好の好機と捉え、積極的な活動を展開する為にJOCの加盟団体であるJGAを中心にゴルフ界全体組織として「オリンピック ゴルフ競技対策本部」を2012年4月より新たな組織を設置致しました。

ゴルフ競技の種目採用及び東京招致を通して、ゴルフ界全体が更なる発展と普及に向け、大いに盛り上がりの気運が高まる事を念じております。

ゴルフ界に携わる皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。

## 対策本部としての主な活動概要:

- 選手選考とゴールドメダルに向けた強化対策、ゴルフ界への広報活動
- 東京開催に向けた競技会場の選定、招致気運高揚の広報・プロモーション活動

## オリンピック ゴルフ競技対策本部メンバー

### 対策本部

本部長 竹田 恆正 JGA副会長  
 副本部長 永田 圭司 JGA専務理事

### アドバイザーボード

高橋 治之 元電通専務  
 樋口 久子 東京2020招致委員会 評議会委員  
 森 静雄 PGA会長  
 海老沢勝二 JGTO会長  
 小林 浩美 LPGA会長

### 選手選考派遣委員会

委員長 竹田 恆正 JGA副会長  
 副委員長 富田 浩安 JGA専務理事・競技者育成強化本部長  
 委員 川田 太三 JGA専務理事・国際委員長 / IGF常任理事国代表  
 前田 新作 PGA副会長・PGAツアー競技管理委員長  
 山中 博史 JGTO専務理事  
 小林 洋子 LPGA副会長

### 2020東京招致委員会

委員長 竹田 恆正 JGA副会長  
 副委員長 相馬 和胤 JGA理事・3オープン競技コース政策部長  
 委員 富田 浩安 JGA専務理事・競技者育成強化本部長  
 川田 太三 JGA専務理事・国際委員長 / IGF常任理事国代表  
 野村 惇 JGA専務理事・競技委員長  
 戸張 捷 JGA専務理事・3オープン競技チーフディレクター  
 内藤 正幸 JGA競技副委員長  
 阿部 信行 PGA副会長・総務財務委員長  
 山中 博史 JGTO専務理事  
 小林 洋子 LPGA副会長

### 東京都スポーツ振興局招致推進部

澤崎 道男 招致計画担当課長  
 藤崎 哲朗 招致戦略課競技団体主査

### 広報・プロモーション企画委員会

委員長 永田 圭司 JGA専務理事  
 副委員長 戸張 捷 JGA専務理事・広報委員長  
 委員 坂井 初敏 PGA副会長・事業企画委員長  
 鷹羽 正好 JGTO理事兼事務局長  
 鈴木美重子 LPGA理事・広報委員長

初任職者・中嶋 常幸

### 強化委員会コーチング部会

委員長 富田 浩安 JGA専務理事・競技者育成強化本部長  
 委員 白木 仁 JGA競技者育成強化副本部長  
 山口 修一 PGA副会長・資格認証委員長  
 鈴木 規夫 JGTO理事  
 山口喜美恵 LPGA理事・TPD部門長



TOKYO ● 2020  
 CANDIDATE CITY



東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会のエンブレム

# 2014年1月1日から

# 日本のハンディキャップが 変わります

オフィシャルハンディキャップを取得して、  
もっとゴルフを楽しみませんか？

日本で唯一のオフィシャルハンディキャップである「JGAハンディキャップ制度」が、2014年1月1日から新制度となって正式に施行されます。新たなJGAハンディキャップ制度は、全米ゴルフ協会(USGA)とライセンス契約を締結し、世界6大陸50カ国以上で採用されているUSGAのハンディキャップ制度に準拠したもので「世界基準」といえるハンディキャップ制度です。

## 《2014年から何が変わるの?》

新たなJGAハンディキャップ制度で、どここのコースに行っても「公平に」プレーすることが出来るようになり、ゴルフプレーがより楽しくなります。

- ① プレーするコース・ティーインググラウンドによって、自分のプレーするハンディキャップが決まります(換算表によって、適正なプレーイングハンディキャップが、すぐにわかります)。



# 日本アマチュアゴルフランキングの創設

2014年世界アマチュアゴルフチーム選手権、2016年オリンピックでの金メダル獲得を目標に、JGAが取り組んでいる競技者育成強化事業の一環として、「日本アマチュアゴルフランキング」が創設されました。

「日本アマチュアゴルフランキング」は、R&Aが制定した世界アマチュアランキングを参考にJGAが開発した、日本におけるアマチュアゴルファーのランキング制度です。JGA主催競技、国内ゴルフ関連団体主催競技、および国際競技などランキング対象競技に出場したアマチュア競技者の成績をポイント換算し、直近1年間の獲得ポイント総計によってランキングを決定します。2012年7月からの制度運用開始を予定しています。

本ランキングの創設により、日本のアマチュアプレーヤーが年間を通じて競技会への目標意識を高め、日々の研鑽に励むことが期待されるとともに、JGA男女ナショナルチーム/JGA男女ナショナルチーム候補選手の選考の際にも活用していくものです。

## 「日本アマチュアゴルフランキング」の仕組み

ランキング対象競技に出場したアマチュア競技者は、各ラウンドのスコア(ストロークポイント)と競技最終成績順位(プレイスポイント)と日本男女アマのマッチプレーラウンドの最終順位(マッチプレーポイント)に基づく3つのポイントを獲得。

「日本アマチュアゴルフランキング」登録競技に出場 (登録競技一覧は下記参照)

### ストロークポイント

ストロークプレー競技のラウンド毎に算出。

### プレイスポイント

ストロークプレー競技の最終成績順位に基づいて獲得。

### マッチプレーポイント

日本男女アマ・マッチプレーの最終成績に基づいて獲得。

「日本アマチュアゴルフランキング」決定 直近1年間の獲得ポイント総計による。

## 「日本アマチュアゴルフランキング」登録競技一覧

### 《JGA主催競技、国内ゴルフ関連団体主催競技》

クラス	選手権名
特A	日本オープンゴルフ選手権競技
	日本女子オープンゴルフ選手権競技
	日本アマチュアゴルフ選手権競技
	日本女子アマチュアゴルフ選手権競技
A	日本学生ゴルフ選手権競技、日本女子学生ゴルフ選手権競技
	日本ジュニアゴルフ選手権競技 15歳～17歳の部(男女)
	アジアアマチュア選手権
B	日本ジュニアゴルフ選手権競技 12歳～14歳の部(男女)
	地区アマチュアゴルフ選手権
	日本ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
	日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
	国民体育大会・ゴルフ競技(全部門)
	文部科学大臣杯争奪 全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦
	朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権
	全国高等学校ゴルフ選手権春季大会
	全国高等学校ゴルフ選手権夏季大会
	全国中学校ゴルフ選手権春季大会
	全国中学校ゴルフ選手権夏季大会
全日本パブリックゴルフ選手権(男女)	
アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ パナソニックオープン	
C	地区ジュニアゴルフ選手権
	地区学生ゴルフ選手権

### 《ナショナルチーム対象国際競技》

クラス	選手権名
A	アイゼンハワートロフィー 世界アマチュアゴルフチーム選手権
	エスピリトサントトロフィー 世界女子アマチュアゴルフチーム選手権
B	ノムラカップ アジア太平洋アマチュアゴルフチーム選手権
	クイーンシリキットカップ アジア太平洋女子招待ゴルフチーム選手権
C	ユニバーシアード競技大会
D	ネイバーズトロフィーチーム選手権
	スピリットインターナショナルアマチュアゴルフ選手権
E	デュークオブヨークヤングチャンピオンズトロフィー
	JGA派遣個人派遣競技



## ポイントの算出方法

### ■ストロークポイントの算出方法

注1：標準スコア(RS)=ラウンドごとのレベルを図る標準値

ストロークプレー競技のラウンドごとに、標準スコア(RS)注1を設定し、プレーヤーのスコアと標準スコア(RS)の差に基づいて、下記のストロークポイント換算表に設定されたポイントを選手に付与する。

ストロークポイント換算表				
対RS -10	対RS -9	対RS -8	対RS -7	対RS -6
20 pt	19 pt	18 pt	17 pt	16 pt
対RS -5	対RS -4	対RS -3	対RS -2	対RS -1
15 pt	14 pt	13 pt	12 pt	11 pt
対RS ±0	対RS +1	対RS +2	対RS +3	対RS +4
10 pt	9 pt	8 pt	7 pt	6 pt
対RS +5	対RS +6	対RS +7	対RS +8	対RS +9
5 pt	4 pt	3 pt	2 pt	1 pt

※標準スコア(RS)の設定方法について

- JGA主催競技、日本高等学校ゴルフ連盟、日本学生ゴルフ連盟、日本パブリック協会主催競技  
設定方法：各ラウンド上位15位タイの平均スコア
- 各地区ゴルフ連盟主催競技  
競技の各日上位15位タイの平均スコアを算出。  
それを合計した数値÷競技日数により各地区競技平均スコアを算出。  
8地区の平均スコアを合計し、平均化したものを標準スコアとする。

### ■プレイスポイントの算出方法

ストロークプレー競技の最終成績順位に基づいてポイントを選手に付与する。  
対象順位とポイント設定は、競技のクラスに応じて異なる。

《特Aクラス競技》 ▶日本アマチュアゴルフ選手権競技 ▶日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

メダリスト	20 pt	2位	10 pt	3位	8 pt	4位	7 pt	5位	6 pt
6位	5 pt	7位	4 pt	8位	3 pt	9位	2 pt	10位	1 pt

《特Aクラス競技》 ▶日本オープンゴルフ選手権競技 ▶日本女子オープンゴルフ選手権競技

ローアマ	35 pt	2位	20 pt	3位	15 pt	4位	10 pt	5位	7 pt
6位	5 pt	7位	4 pt	8位	3 pt	9位	2 pt	10位以下	1 pt

※アマチュア順位・総合成績順位によって特別ポイントを付与する。

《Aクラス競技》

優勝	30 pt	2位	15 pt	3位	10 pt	4位	7 pt	5位	5 pt
6位	3 pt	7位	2 pt	8位	1 pt				

《Bクラス競技》

優勝	15 pt	2位	10 pt	3位	5 pt	4位	3 pt	5位	2 pt
----	-------	----	-------	----	------	----	------	----	------

《Cクラス競技》

優勝	10 pt	2位	5 pt	3位	3 pt
----	-------	----	------	----	------

《Dクラス競技》

優勝	5 pt
----	------

## 特集2

### ■マッチプレーポイントの算出方法

日本アマチュアゴルフ選手権競技(男女)のみの対象ポイント。  
日本アマチュアゴルフ選手権競技(男女)でマッチプレーに進出した選手には、下記に設定されたポイントが付与される。

優勝	70 pt	2位	50 pt	3位	35 pt	4位	30 pt	ベスト8	20 pt
ベスト16	10 pt	ベスト32	5 pt						

### ■ナショナルチーム対象国際競技のブレイスポイントおよびマッチプレーポイント

《Aクラス競技》 ▶アイゼンハワートロフィー 世界アマチュアゴルフチーム選手権 ▶エスピリトサントトロフィー 世界女子アマチュアゴルフチーム選手権  
代表選手 15 pt

団体優勝	100 pt	2位	70 pt	3位	50 pt	4位	30 pt	5位	20 pt
6位	10 pt	7位	7 pt	8位	6 pt	9位	5 pt	10位	3 pt

個人優勝	50 pt	2位	30 pt	3位	20 pt	4位	10 pt	5位	7 pt
6位	5 pt	7位	4 pt	8位	3 pt	9位	2 pt	10位	1 pt

《Bクラス競技》 ▶ノムラカップ アジア太平洋アマチュアゴルフチーム選手権 ▶クィーンシリキットカップ アジア太平洋女子招待ゴルフチーム選手権  
代表選手 10 pt

団体優勝	30 pt	2位	20 pt	3位	10 pt
------	-------	----	-------	----	-------

個人優勝	20 pt	2位	15 pt	3位	10 pt
------	-------	----	-------	----	-------

《Cクラス競技》 ▶ユニバーシアード競技大会  
代表選手 5 pt

団体優勝	15 pt	2位	7 pt	3位	5 pt
------	-------	----	------	----	------

個人優勝	15 pt	2位	7 pt	3位	5 pt
------	-------	----	------	----	------

《Dクラス競技》 ▶ネイバーストロフィーチーム選手権(団体、個人競技)  
代表選手 5 pt

団体優勝	10 pt	個人優勝	10 pt
------	-------	------	-------

《Dクラス競技》 ▶スピリットインターナショナルアマチュアゴルフ選手権(団体競技)  
代表選手 5 pt

男女団体優勝	20 pt	2位	15 pt	3位	10 pt	4位	7 pt	5位	5 pt
男女各団体優勝	15 pt	2位	10 pt	3位	7 pt	4位	5 pt	5位	3 pt

《Dクラス競技》 ▶デュークオブヨークヤングチャンピオンズトロフィー(個人競技)  
代表選手 5 pt

優勝	30 pt	2位	25 pt	3位	20 pt	4位	15 pt	5位	10 pt
6位	8 pt	7位	7 pt	8位	6 pt	9位	5 pt	10位	3 pt

《Eクラス競技》 ▶個人派遣競技  
ストロークプレー競技

優勝	30 pt	2位	25 pt	3位	20 pt	4位	15 pt	5位	10 pt
6位	8 pt	7位	7 pt	8位	6 pt	9位	5 pt	10位	3 pt

《Eクラス競技》 ▶個人派遣競技  
マッチプレー競技

優勝	30 pt	2位	25 pt	ベスト4	20 pt	ベスト8	15 pt	ベスト16	10 pt
ベスト32	7 pt	ベスト64	5 pt						

### 《ポイント算出方法の具体例》

※ストロークプレー各ラウンドの標準スコア(RS)をイーブンパー(72)と設定した場合

#### 〈男子〉Aくん

日本アマチュアゴルフ選手権競技 優勝・クオリファイングラウンド15位

ストロークポイント	9.5 pt	+	ブレイスポイント	0 pt	+	マッチプレーポイント	70 pt	=	合計獲得ポイント	79.5 pt
-----------	--------	---	----------	------	---	------------	-------	---	----------	---------

日本オープンゴルフ選手権競技 CUT 83位T

ストロークポイント	3 pt	+	ブレイスポイント	0 pt	=	合計獲得ポイント	3 pt
-----------	------	---	----------	------	---	----------	------

中国アマチュアゴルフ選手権競技 2位

ストロークポイント	11.5 pt	+	ブレイスポイント	10 pt	=	合計獲得ポイント	21.5 pt
-----------	---------	---	----------	-------	---	----------	---------

日本ジュニアゴルフ選手権競技 男子15歳～17歳の部 7位T

ストロークポイント	10 pt	+	ブレイスポイント	2 pt	=	合計獲得ポイント	12 pt
-----------	-------	---	----------	------	---	----------	-------

ポイント総合計  
116.5 pt

#### 〈男子〉Bくん

日本アマチュアゴルフ選手権競技 ベスト16 メダリスト

ストロークポイント	14 pt	+	ブレイスポイント	20 pt	+	マッチプレーポイント	10 pt	=	合計獲得ポイント	44 pt
-----------	-------	---	----------	-------	---	------------	-------	---	----------	-------

日本オープンゴルフ選手権競技 10位T (ローアマ)

ストロークポイント	11 pt	+	ブレイスポイント	35 pt	=	合計獲得ポイント	46 pt
-----------	-------	---	----------	-------	---	----------	-------

中国アマチュアゴルフ選手権競技 優勝

ストロークポイント	12 pt	+	ブレイスポイント	15 pt	=	合計獲得ポイント	27 pt
-----------	-------	---	----------	-------	---	----------	-------

日本ジュニアゴルフ選手権競技 男子15歳～17歳の部 14位T

ストロークポイント	9 pt	+	ブレイスポイント	0 pt	=	合計獲得ポイント	9 pt
-----------	------	---	----------	------	---	----------	------

ポイント総合計  
126 pt

#### 〈女子〉Cさん

日本女子アマチュアゴルフ選手権競技 ベスト32・クオリファイングラウンド10位

ストロークポイント	10 pt	+	ブレイスポイント	1 pt	+	マッチプレーポイント	5 pt	=	合計獲得ポイント	16 pt
-----------	-------	---	----------	------	---	------------	------	---	----------	-------

日本女子オープンゴルフ選手権競技 43位T(アマチュア内で10位)

ストロークポイント	7 pt	+	ブレイスポイント	1 pt	=	合計獲得ポイント	8 pt
-----------	------	---	----------	------	---	----------	------

日本ジュニアゴルフ選手権競技 女子15歳～17歳の部 3位

ストロークポイント	13 pt	+	ブレイスポイント	10 pt	=	合計獲得ポイント	23 pt
-----------	-------	---	----------	-------	---	----------	-------

中部ジュニアゴルフ選手権 2位

ストロークポイント	11 pt	+	ブレイスポイント	5 pt	=	合計獲得ポイント	16 pt
-----------	-------	---	----------	------	---	----------	-------

ポイント総合計  
63 pt

#### 〈女子〉Dさん

日本女子アマチュアゴルフ選手権競技 ベスト32・クオリファイングラウンド3位T

ストロークポイント	13 pt	+	ブレイスポイント	8 pt	+	マッチプレーポイント	5 pt	=	合計獲得ポイント	26 pt
-----------	-------	---	----------	------	---	------------	------	---	----------	-------

日本女子オープンゴルフ選手権競技 CUT 69位T

ストロークポイント	2.5 pt	+	ブレイスポイント	0 pt	=	合計獲得ポイント	2.5 pt
-----------	--------	---	----------	------	---	----------	--------

日本ジュニアゴルフ選手権競技 女子15歳～17歳の部 21位T

ストロークポイント	10 pt	+	ブレイスポイント	0 pt	=	合計獲得ポイント	10 pt
-----------	-------	---	----------	------	---	----------	-------

九州女子アマチュアゴルフ選手権 13位T

ストロークポイント	9 pt	+	ブレイスポイント	0 pt	=	合計獲得ポイント	9 pt
-----------	------	---	----------	------	---	----------	------

ポイント総合計  
47.5 pt

### 《日本アマチュアゴルフ選手権競技のポイント算出例》

日本アマチュア選手権(特Aクラス競技)に出場した上記男子2人のプレーヤー(Aくん、Bくん)が獲得するポイントは、それぞれの成績(スコアと順位)に基づいて以下のように算出します。ストロークポイント、ブレイスポイント、マッチプレーポイントを組み合わせることにより、各プレーヤーの技量を総合的に評価することができます。

※ストロークプレー各ラウンドの標準スコア(RS)をイーブンパー(72)と設定した場合

	ストロークプレー第1ラウンド			ストロークプレー第2ラウンド			ストロークポイント計③ (①+②÷2)	ストロークプレー最終順位	ブレイスポイント④	マッチプレー最終成績	マッチプレーポイント⑤	合計獲得ポイント (③+④+⑤)		
	スコア	RS	対RS	ストロークポイント①	スコア	RS							対RS	ストロークポイント②
Aくん	-1	72	-1	11 pt	+2	72	+2	8 pt	9.5 pt	12位タイ	0 pt	優勝	70 pt	79.5 pt
Bくん	-2	72	-2	12 pt	-6	72	-6	16 pt	14 pt	メダリスト	20 pt	ベスト16	10 pt	44 pt